

【Bousai support】.mif ファイルをインポートする手順

Mail: bousai@udri.net

.....
防災まちづくり支援システム 版（以下 版）において、.mif ファイルをインポートする際の手順を示したものです。

<注意>

- ・ .mif ファイルはマニュアル 8 ページを参照の上、正しいデータをご用意ください。

1、 インポートするファイルを選択

【ファイル】 - 【インポート】 - 【図形のインポート】をクリックし、インポート処理を開始します。インポートするファイルを選択し、「開く」をクリックしてください。

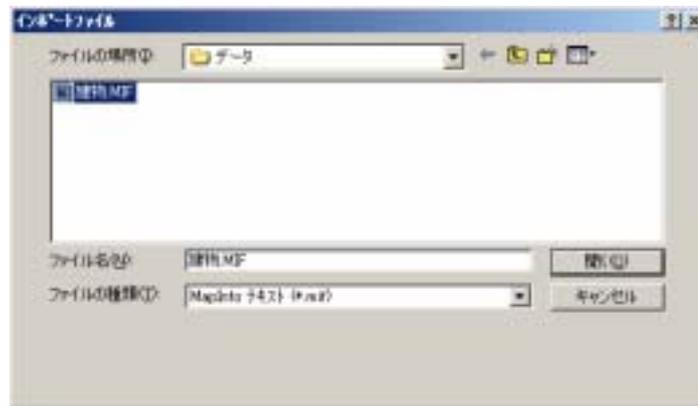


図 1 インポートファイル選択画面

2、 警告文

【はい】をクリックして、次に進みます。

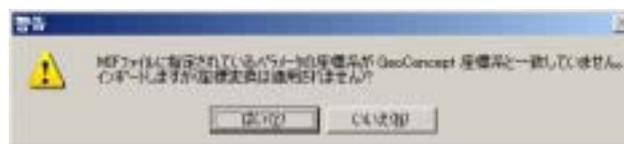


図 2 警告ウィンドウ

3、 詳細な設定

ここでは、インポートする際の詳細な設定を行います。

インポートの[カスタマイズ]を選択してください。(必須)

オプションの[作成フィールドに MI を付ける]、[中心点を取り出す]のチェックをはずしてください。(推奨)

【次へ>】をクリックして、次に進みます。

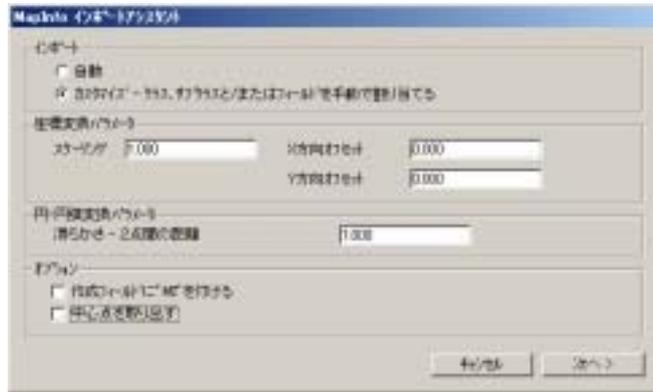


図 3 インポート詳細設定画面

4、 クラス・サブクラスの設定

ここでは、クラスとサブクラスの設定を行います。

Area_1 (クラス) をダブルクリックして、展開させます。(図 4・5)



図 4 クラス・サブクラス設定画面 1



図 5 クラス・サブクラス設定画面 2

サブクラスが展開しますので、インポートするデータと同じ名前を選びます。今回は、建物をインポートしていますので、建物（サブクラス）をダブルクリックします。（図6）【次へ>】をクリックして、次に進みます。



図 6 クラス・サブクラス設定画面 3

5、 フィールドの設定

ここでは、フィールドの設定をします。

右側のボックスには、用意したデータのフィールド一覧です。右側のボックスは、システムで使用するフィールドの一覧です。「構造 構造」の様に、フィールド名を対応させてください。（図1）



図 7 フィールド設定画面 1

必要のないフィールドは、左側のボックスからフィールド名を選択し、【×】をクリックします。（図8・9）

【インポート】をクリックして、インポートをスタートさせます。



図 8 フィールド設定画面 2



図 9 フィールド設定画面 3

6、 インポート終了後の手順

インポート終了後は、データベース更新処理を行う必要があります。

しかし、建物以外に、道路中心線や消防水利施設など複数インポートするデータがある場合は、1 から 5 の処理を繰り返してください。

すべてのインポート処理が終了した後は、必ずデータベース更新を実行して下さい。

7、 データベース更新終了後

データベース更新終了後は防災まちづくり支援システムを再起動する必要がありますので、

【ファイル】 - 【終了】 からプログラムを終了して、もう一度ウィンドウズの【スタート】 - 【プログラム】 - 【防災まちづくり 1.0】 - 【防災まちづくり 】を実行してください。